

令和3年度 上殿小学校 研究推進計画

(1) 研究主題

資質・能力の育成をめざした生活科・総合的な学習の時間の工夫
～深い学びのある単元づくり・授業づくりを通して～

(2) 研究主題設定の理由

昨年度、研究主題を「資質・能力の育成をめざした生活科・総合的な学習の時間の工夫～深い学びのある単元づくり・授業づくりを通して～」と設定し、児童が学びの必要性を見出せる単元づくりをし、単元のゴールを明確にした課題設定を工夫し、課題に対して多様な方法で整理・分析する方法を示し、協働して考えることができる授業となるよう取り組んだ。

一昨年度までの、活動ありきの学習から、学習者起点の課題解決を中心とした学びを展開することができた。児童のノートの記述を見ると、はじめは力の伸びを実感している児童が少なかったが、学習を通じて、特に「課題解決力の伸び」を実感する児童が増えた。よって、一定の成果があったといえる。

一方、令和3年度はじめにとったアンケートでは、「学習の振り返りをするときには、『もっと考えてみたいこと』『もっと調べてみたいこと』『もっと工夫してみたいこと』などを考えています。」について、肯定的な評価が76%であった。「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。」について、肯定的な評価が81%であった。

昨年度の『総合的な学習の時間』の授業をふり返るとなかなか追究活動のサイクルにのせることができず、追究活動を次への課題につなげられなかった。児童が自ら設定した課題を、児童が解決する学習内容を1サイクルは展開することができたが、それ以降の児童の学びを深めることができていない。

そこで今年度も、研究主題を「資質・能力の育成をめざした生活科・総合的な学習の時間の工夫～深い学びのある単元づくり・授業づくりを通して～」と設定し、課題を発見する力、主体的に学ぶ姿勢、協働する力、課題解決をするための整理・分析をする力を育てていきたいと考える。

「深い学び」とは、各教科で身に付けた見方・考え方を生かした一つ一つの知識がつながっていく学びである。生活科や総合的な学習の時間の学びは、教科横断的なカリキュラムマネジメントを行い、単元を構成することが重要である。そのために、上殿の豊かな地域環境を生かして児童が解決・探究したくなるような「問い」を生む単元を設け、各教科の見方・考え方を働かせて解決・探究する教科横断的な単元を計画し、協働して課題を解決しようとしたり、分析してまとめたり表現したりする学習活動を展開していく。そして、その活動の中で、「課題解決力・情報活用能力」「主体性」「協調性」「自らへの自信」といった、今年度本校で特に育成していきたい資質・能力を効果的に育成し

ていきたい。

(3) 研究仮説

児童が学びの必要性を見出せる単元づくりをし、単元のゴールを明確にした課題設定を工夫し、課題に対して多様な方法で整理・分析する方法を示し、協働して考える学習を仕組みれば、3つの資質・能力を高めることができるであろう。

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力			
		生活科	総合的な学習の時間
資質・能力		低学年	中学年
		低学年	高学年
知識及び技能	知識・技能	○活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付く。 ○生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるようにする。	○地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付ける。 ○地域の特徴やよさに気付く。
	思考力、判断力、表現力等	○課題を意識したり見つけたりする。 ○疑問に思ったことについて、人から聞いて分かったことや調べたこと、自分の考えたことを発表する。	○課題を見つけ、解決する手段や方法を考える。 ○様々な方法で情報を集め、整理・分析し、分かったことや考えたことを相手にわかりやすく伝える。
	主体性	○課題に対する自分の考えを持って行動している。	○課題解決に向けて自分の考えを持ち行動している。
学びに向かう力、人間性等	協調性	○友達の意見を最後まで聞いて話し合い、協力して取り組んでいる。	○相手の意見を受け止めて話し合い、よりよい解決に向けて協力して取り組んでいる。
	自らへの自信	○目標に向かって取り組む中で、自分のがんばっている姿に気付いている。 ○地域の人との活動を楽しみ、地域が好きになっている。	○目標に向かって努力し、自らの成長を認めている。 ○地域の良さを知り、地域に愛着を持っている。
			○課題解決に向けて自分の考えを持ち、よりよい方法を選択して、行動している。
			○自分と異なる意見や立場も大切にして話し合い、よりよい解決に向けて対等な立場で協力して取り組んでいる。
			○目標に向かって最後までやりぬき、今の自分を認め、今後の生活の仕方や自己の将来について考えている。 ○地域の良さを感ずき、地域に対する愛着と誇りを抱いている。

(4) 研究の視点

単元づくりの工夫	課題設定の工夫	課題解決の方法の提示	協働して課題解決する方法の導入
①地域素材を生かして、学習のゴールを明確にした教科横断的な単元づくりを工夫する。	②「ずれ」や「可能性」などを感じさせる工夫をし、願いや気づきが生まれる課題設定を工夫する。	③多様な整理・分析方法を示し、課題解決に取り組ませる。	④協働して課題解決する方法（知識構成型ジグソー法等）を仕組む。

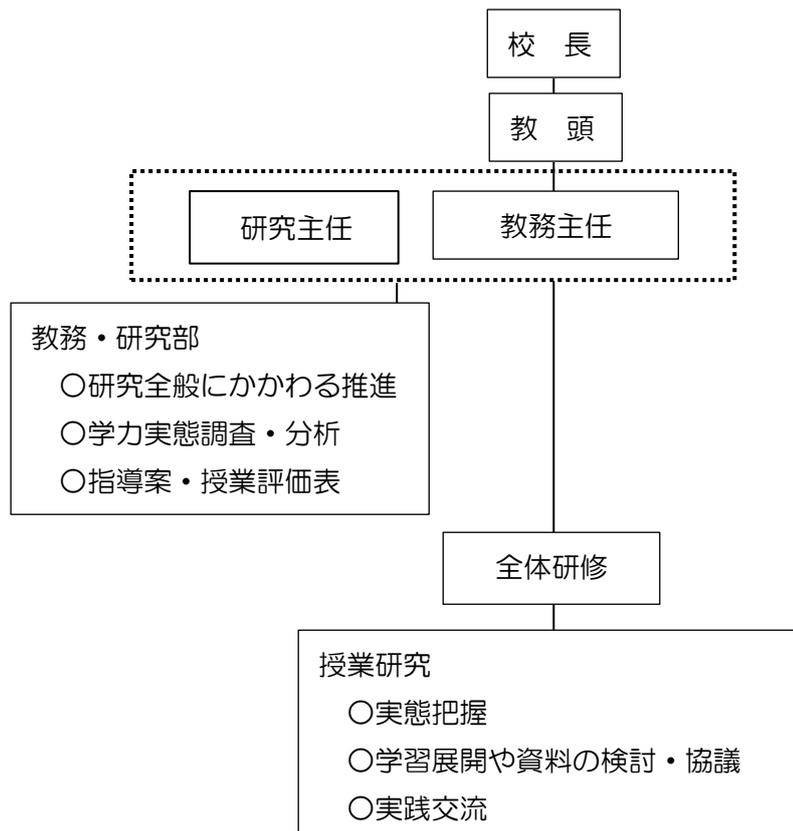
(5) 検証の方法

評価の観点		検証方法	達成目標
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 知識・技能 	ノート、ワークシート	エピソード評価 個の変容
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 課題解決力 情報活用能力 	ノート、ワークシート 行動観察	各単元で設定したルーブリック評価規準、B規準以上の児童の割合 90%以上。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 主体性 協調性 自らへの自信 	児童アンケート① 「学習の振り返りをするときには、『もっと考えてみたいこと』『もっと調べてみたいこと』『もっと工夫してみたいこと』などを考えています。」 児童アンケート② 「『総合的な学習の時間、生活科』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。」	肯定的回答 90%以上

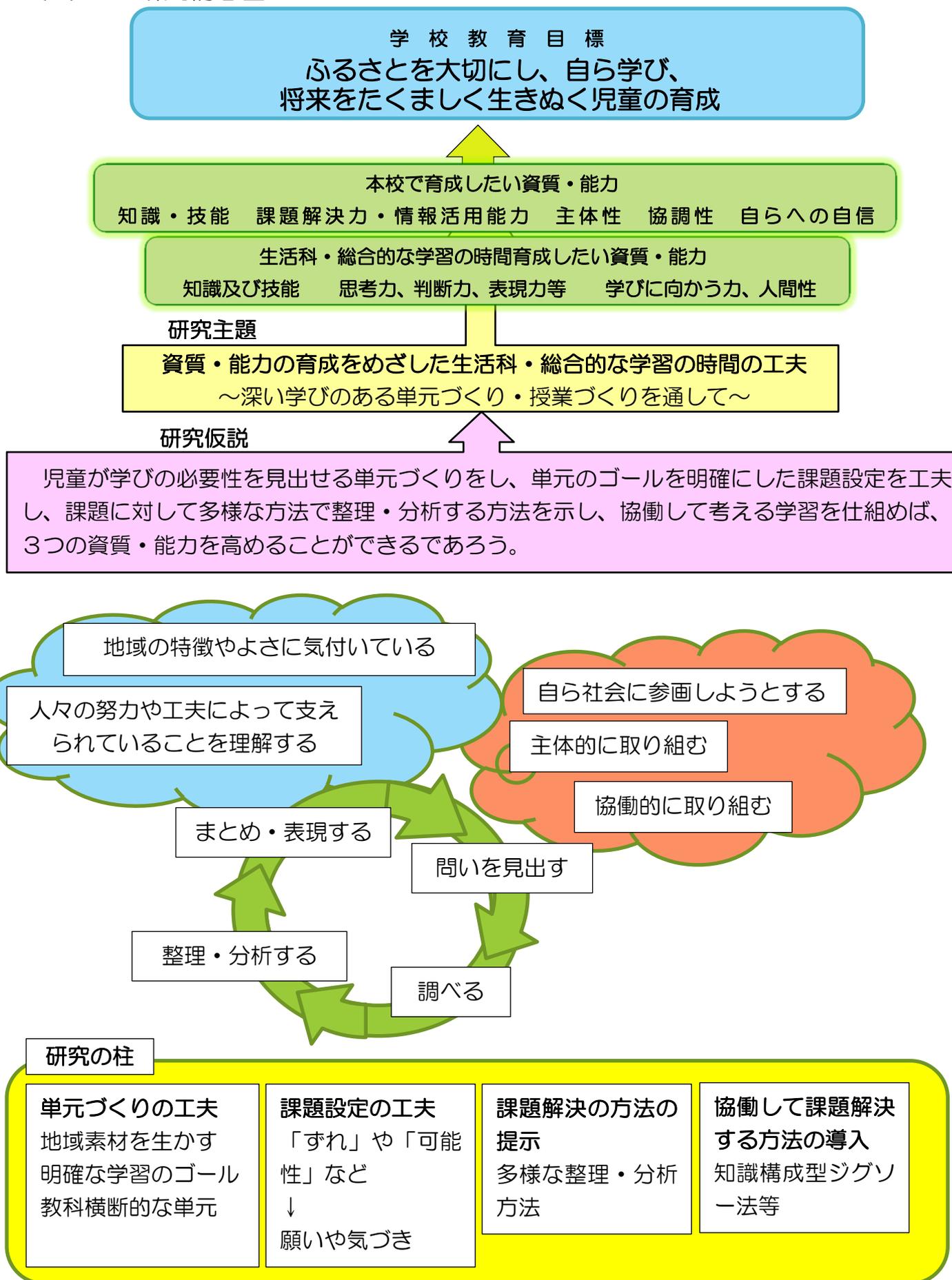
(6) 研究方法

- 理論研修
- 授業研究

(7) 研究組織



(8) 研究構想図



(9) 授業観察カード

1 日時 年 月 日()曜日()校時

2 教科・領域(総合的な学習の時間・生活科) 単元名()

3 授業者 年()教諭 記入者()

4 評価

4とてもよい 3よい 2 くらい 1かなりくらい

		内 容	チェック欄
1	単元 づくり	地域素材を生かし、明確な学習のゴールが設定され、教科横断的な単元である	4 3 2 1
2	課題 設定	「ずれ」や「可能性」などを感じさせる工夫をし、願いや気づきが生まれた	4 3 2 1
3	課題 解決	課題解決に合う整理・分析方法を示した	4 3 2 1
4	協働	協働して課題解決する方法を取り入れた	4 3 2 1
5		【自由記述】	